

2007年8月6日

受益者の皆様へ

東京海上アセットマネジメント投信株式会社

「東京海上ベストチャイナオープン」の中国 A 株連動債への投資開始のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

さて、「東京海上ベストチャイナオープン」において、運用実績の向上を目指すため、8月2日より中国 A 株連動債 への投資を開始いたしました。中国経済は、高い成長を維持しており、個人消費の成長を享受できる中国 A 株連動債への投資は有効であると考えております。

尚、当初の組入れ銘柄は自動車・機械部品メーカーの「福建龍溪軸承(集団)-フーajian・ロンシー・ベアリング」です。同社はジョイントベアリング、スラスト玉軸受等の自動車部品を主力商品とし、中国での自動車購入需要の高まりの恩恵を受け、今後も高い成長力が見込まれます。また、PER も今期予想ベースで 28 倍弱と中国 A 株市場平均の 39 倍と比較しても割高感は無いためと考えております。

中国 A 株とは、上海証券取引所および深セン証券取引所に上場されている中華人民共和国(以下、中国)企業の人民元建株式のことで、2002年12月の Q F I I 制度施行を受け、国外の機関投資家による投資が可能となりました。

Q F I I (適格国外機関投資家)制度とは、一定の適格条件を満たし、中国の証券市場に投資することについて中国証券監督管理委員会(C S R C)の認定を受け、かつ国家外貨管理局(S A F E)から投資限度額の認可を取得した国外の機関投資家に対して、人民元建て中国本土株(上海 A 株、深セン A 株)の売買を条件付きで可能にした制度です。

以上

当資料は、東京海上アセットマネジメント投信により作成されたものであり、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており証券の勧誘を目的とするものではありません。また、証券取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績は、過去の実績を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料の内容はあくまで作成日時点のものであり、将来変更される可能性があります。また、市場動向や個別銘柄の将来の動向を保証するものではありません。